

Godox 神牛

Xunliカメラフラッシュ

Thinkliteカメラフラッシュ

TT600



取扱説明書

いう 明るい 手 本

中国語英語バイリンガル

この製品を使用する前に：

このマニュアルをよくお読みになり、安全にご使用ください。今後のためにこのマニュアルを保管してください
クエリ参照。

この製品を使用する前に：

安全と本製品の適切な操作を確保するために、このユーザーマニュアルを注意深くお読みください。今後の参考のために保管してください。

序文

GODOX製品をお買い上げいただきありがとうございます。

TT600カメラフラッシュはGodoxワイヤレスXシステムと2.4G比を採用

AD360II-Cと互換性のあるトランスミッション、AD360II-N、

TT685C、TT685N、X1T-C、X1T-Nなど。Canon、Nikon、SonyなどのすべてのDSLRカメラブランドに適合します。

このTT600カメラフラッシュの機能：

- GN60 (m ISO 100、@ 200mm)。1/ 1から1/128インチに調整
1/3ストップ

- 送受信をサポートする内蔵2.4Gワイヤレス送信

- 高速同期、ワイヤレスリモコン、マルチフラッシュ、手動フォーカスアシスト

- 安定した一貫性と色温度、均一な照明

- ユーザーフレンドリーなLCDディスプレイとコントロールパネル

警告

-  この製品は常に乾いた状態に保ってください。雨や湿気の多い場所では使用しないでください。
-  分解しないでください。修理が必要になった場合は、認定されたメンテナンスセンターに送付してください。お子様の手の届かないところに保管してください。
-   押し出し、落下、強い打撃などで破損した場合は使用を中止してください。内部の電子部品に触れると感電する恐れがあります。
-  近距離で直接目（特に乳幼児）にフラッシュを当てないでください。視覚障害の原因となります。
-  可燃性ガス、化学薬品、その他の同様の物質の存在下でフラッシュユニットを使用しないでください。特定の状況では、これらの物質はこのフラッシュユニットから放出される強い光に敏感であり、火災または電磁干渉が発生する可能性があります。
-  周囲温度が50を超える場合は、フラッシュユニットを放置したり保管したりしないでください。
°C。そうしないと、電子部品が損傷する可能性があります。
-  故障した場合は、すぐにフラッシュをオフにしてください。



Thinkliteカメラフラッシュ

このマニュアルで使用されている規則

●本書は、カメラとカメラのフラッシュの電源スイッチの両方がオンになっていることを前提としています。

●参照ページ番号は「p. **」で示されています。

●このマニュアルでは、次の警告記号が使用されています。注意記号は補足情報を示します。

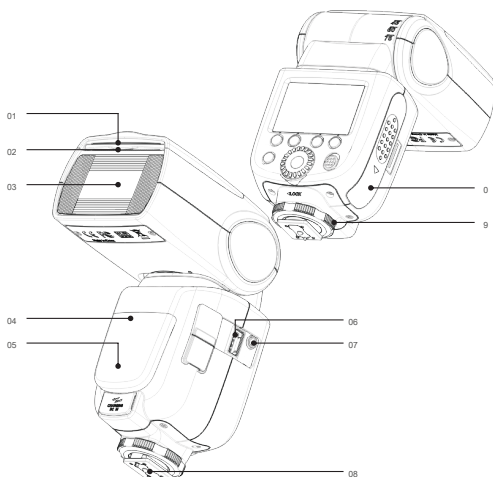


ノート記号は、撮影の問題を防ぐための警告を示します。

内容

19	序文
20	警告
23	部品名
	体
	コントロールパネル
	LCDパネル
	TT600の箱には何が入っていますか？別
	売りのアクセサリー
26	フラッシュを使用したカメラへの
26	取り付け
	パワー管理
	フラッシュ出力
	ズーム：フラッシュカバレッジMモードの設定
	マルチモード：ストロボフラッシュS1モード
	S2モード
	 H 高速同期トリガー
	カスタム機能---フォーカスアシストビームバズ機
	能
	ワイヤレスフラッシュ撮影：レシオ (2.4G) 送信
	無線制御機能
	同期トリガー
	カスタム機能---スリープ機能
	C.Fnカスタム機能の設定
34	保護機能
35	高度なアプリケーション
37	技術データ
37	メンテナンス

部品名



●ボディ

01. キャッチライトパネル

02. 内蔵ワイドパネル (格納式)

03. フラッシュヘッド

04. 光学制御センサー

05. フォーカスアシストビーム

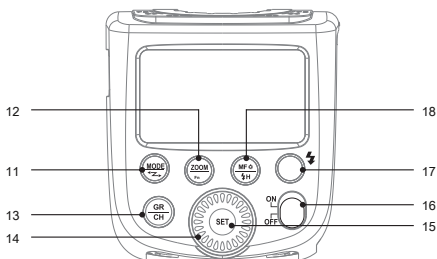
06. ワイヤレス制御ポート

07. 同期コードジャック

08. ホットシュー

09. ロックリング

10. バッテリーコンパートメント



●コントロールパネル

11. <MODE>モード選択ボタン/ 15. <ワイヤレスモード>設定ボタン

(長押し)

16. 電源スイッチのオン/オフ

12. <ZOOM/Fn>ズーム/機能カスタム
ボタン (長押し)

17. <フラッシュ>ボタン/フラッシュ
レディインジケーター

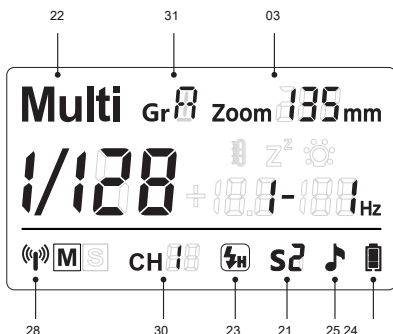
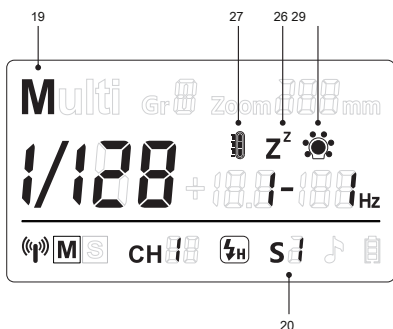
13. <GR/CH>グループ/チャンネル設定
(長押し)

18. <フォーカスアシストビーム/高速同期>ボタン
(長押し)

14. <ダイヤル>ダイヤルを選択

部品名

●LCDパネル



19. < **M** >> 手動フラッシュモード

20. < **S1** >> S1スレブフラッシュトリガー

21. < **S2** >> S2スレブフラッシュトリガー

22. < マルチ > マルチ/ストロボスコープ
フラッシュモード

23. < **⚡H** > 高速同期
トリガー

24. < >> バッテリーレベルの表示

25. < >> ブープ音の表示

26. < >> ズープステータス

27. < >> 過熱
表示

28. < >> 無線信号伝送

29. < >> フォーカスアシストビーム
インジケータ

30. チャンネル

31. グループ

●TT600の箱には何が入っていますか？

1.フラッシュユニット

2.ミニスタンド

3.保護ケース

4.取扱説明書

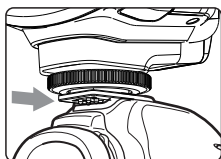


●別売りアクセサリー

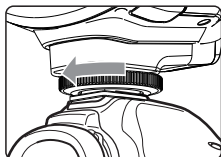
この製品は、別売りのアクセサリーと組み合わせて使用 することができ、次のような効果が得られます。Cells II高速トリガー、F T-16S pコントロール、車の充電器、ミニソフトボックス、ホワイト&ハニカム、カラージェル、スヌート、等



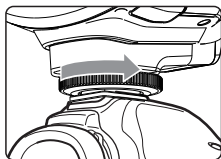
カメラへの取り付け



- 1 カメラのフラッシュを滑らせず
カメラのフラッシュを取り付けます。
カメラに足を取り付ける
ずっとホットシュー。



- 2 カメラのフラッシュを固定します。
ロックされるまで取り付け脚。



- 3 カメラのフラッシュを回します。
それがなるまで取り付け足に
緩んだ。

フラッシュの使用

1. 電源管理

ON / OFF電源スイッチでフラッシュユニットの電源をオン/オフします。長期間使用しない場合はオフにします。このフラッシュユニットはスリープ機能を備えており、長時間操作しないとスリープ状態になります。スリープ機能の設定については、以下の手順を参照してください。

2. フラッシュ出力

- フラッシュ出力は、1/128パワーから1/1フルパワーまで1/3ストップ刻みで変化させることができます。正しいフラッシュ露出を得るには、ハンドヘルドフラッシュメーターを使用して必要なフラッシュ出力を決定します。
- セレクトダイヤルを回して出力を調整します。次の表から、フラッシュ出力を増減したときに、オフ/ストップの観点からストップがどのように変化するかを簡単に確認できます。

フラッシュ出力レベル1 / 1-0.3を下げたときに表示される数値

1/1	1 / 1-0.7		1/2	1 / 2-0.3	1 / 2-0.7	1/4	...	の
	1/2 + 0.7	1/2 + 0.3		1/4 + 0.7	1/4 + 0.3		...	

フラッシュ出力レベルを上げたときに表示される数値

- ⚠ LCDディスプレイに「OF」が表示されている場合は、フラッシュ出力がなく、フラッシュの発光がオフになっていることを意味します。

3. ズーム : フラッシュカバレッジの設定

からのレンズの焦点距離に一致するようにフラッシュカバレッジを設定することができます

24 mm〜200mm。<を押します。



>ボタンを押して[ダイヤルの選択]を回します

< [ダイヤル] > フラッシュカバレッジを変更します。

- ⚠ フラッシュのカバー範囲を設定するときは、写真の周辺が暗くならないように、レンズの焦点距離をカバーしていることを確認してください。

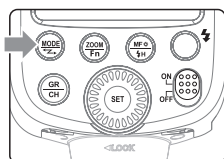
フラッシュの使用

4. Mモード：手動モード

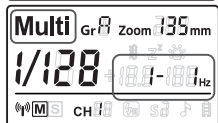
モード選択ボタンを押す<  > Mモードに入ります。これでモードでは、フラッシュユニットをカメラのホットシューまたはホットシューをトリガーして発光させます。撮影する前に、フラッシュの出力を調整します。カメラのシャッターを押すと、フラッシュが同期して発光します。スレーブトリガーモードは、Mモードでは使用できません。

5. マルチモード：ストロボフラッシュ

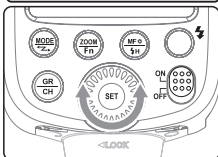
モード選択ボタンを押す<  > マルチモードに入る (ストロボフラッシュ) ストロボフラッシュを使用すると、フラッシュが発光します。1枚の写真に動いている被写体の複数の画像をキャプチャするために使用できます。発光周波数 (1秒あたりのフラッシュ数。Hzで表されます)、フラッシュの数、およびフラッシュ出力を設定できます。設定手順については、以下を参照してください。



1 モード選択ボタンを押す「マルチ」が表示されます。



2  から設定する項目を選択します。アイテムが点滅します。



3  から選択の番号を回転させます。

シャッタースピードの計算

ストロボフラッシュの間、シャッターは発光が停止するまで開いたままになります。提供された式を使用して、フラッシュの完全なシーケンスをキャプチャするために必要なシャッター速度を計算します。

$$\text{フラッシュ回数/発火頻度} = \text{シャッタースピード}$$

たとえば、フラッシュの回数が10回で、発光周波数が5 Hzの場合、シャッター速度は2秒以上である必要があります。

注意：

- ストロボフラッシュは、暗い背景に対して反射率の高い被写体で最も効果的です。
- 三脚とリモートスイッチの使用をお勧めします。
- ストロボフラッシュでは、1/1または1/2のフラッシュ出力は設定できません。
- ストロボフラッシュは「buLb」で使用できます。

フラッシュの使用

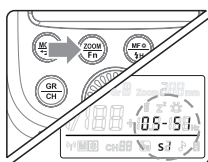
最大ストロボスコープフラッシュ：

閃光 出力	Hz	1	2	3	4	5	6-7	8-9
1/4		7	6	5	4	4	3	3
1/8		14	14	12	10	8	6	5
1/16		30	30	30	20	20	20	10
1/32		60	60	60	50	50	40	30
1/64		90	90	90	80	80	70	60
1/128		100	100	100	100	100	90	80

閃光 Hz 出力	10	11	12-14	15-19	20-50	60-199
1/4	2	2	2	2	2	2
1/8	4	4	4	4	4	4
1/16	8	8	8	8	8	8
1/32	20	20	20	18	16	12
1/64	50	40	40	35	30	20
1/128	70	70	60	50	40	40

⚠ ストロボフラッシュ中のフラッシュヘッドの過熱や劣化を防ぐため、ストロボフラッシュを10回以上連続して使用しないでください。

6. S1モード：S1スレーブトリガーモード

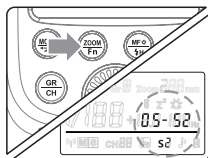


- 長押し< > 2のボタン
カスタムメニューに入る秒数
- <を押します > 選択するボタン
OS。次に、選択ダイヤルを回します
OFF / S1 / S2を選択します。

- S1モードでは、フラッシュユニット
複数の照明効果を生み出すためのスレーブフラッシュとして機能することができます。それぞれ手動フラッシュ環境に適用できます。

- S1モードでは、マスターフラッシュが発光するとフラッシュユニットが同期して発光します。これは、ラジオリガーを使用した場合と同じ効果です。

7. S2モード：S2スレーブトリガーモード



- 長押し< > 2のボタン
カスタムに入る秒数
- メニューを押して<を押します > へのボタン
OSを選択し、次にSelectを回します
ダイヤルしてOFF / S1 / S2を選択します。

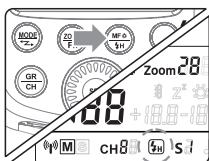
フラッシュの使用

●S2モードでは、フラッシュユニット

複数の照明効果を作成するためのスレーブフラッシュとして機能できます。TTLマスターフラッシュを使用する場合に適用できます。

●S2モードでは、フラッシュユニットはマスターフラッシュからの単一の「プリフラッシュ」を無視し、マスターからの2番目の実際のフラッシュにตอบสนองしてのみ発光します。

8.8. 高速同期トリガー



●入場するには モード、長押し

<  > ボタンを押したまま2秒間押し続けます。

●終了するには モード、モードを押します 選択ボタンまたは長押し

<  > ボタンを押したままもう一度2秒間押し続けます。

●< > 高速同期トリガー

モードでは、高速同期トリガーを使用して、フラッシュユニットをカメラのすべてのシャッター速度（最大1/8000秒、カメラまで）と同期させることができます。これは、絞り優先を使用して塗りつぶす場合に便利です。フラッシュポートレート。

注意：

※高速同期トリガーモードは、フラッシュユニットを以下のフラッシュトリガーと併用した場合のみ有効です。

1. 高速同期トリガー（Godox Cells II トランシーバーなど）。

2. TTLワイヤレスフラッシュトリガー-X1C

3. TTLワイヤレスフラッシュトリガー-X1N

※カメラにTT600を装着した場合、高速同期トリガーモードは使用できません。



Godox Cells II トランシーバー
(オプション)

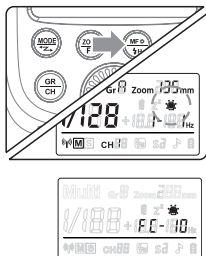


TTLワイヤレスフラッシュトリガー-X1C /
X1N (オプション)

 ハイライトシンク口時のフラッシュヘッドの過熱や劣化を防ぐため、高速フラッシュを10回連続して行くと、過熱防止機能が自動的に作動し、サイクルタイムが10秒長くなります。

フラッシュの使用

9. カスタム機能-フォーカスアシストランプ



- 照明が不十分またはコントラストが低い場合

条件では、<ボタンを押してフォーカスをオートにすることができず

オートフォーカスを容易にするためにビームをアシストします。

- 最後のポップが発射されてから一定秒後にビームが自動的に出力されます。最後の発射からフォーカスアシストビームの自動シャットダウンまでの時間が呼び出されます。

フラッシュなしの時間。時間はユーザーが調整可能で、デフォルトで10秒に設定されています。

- <を押します  ボタンを2回押し続けます
カスタム機能に入るのに数秒。

次に「SET」ボタンを押して「FC」モードに入ります。

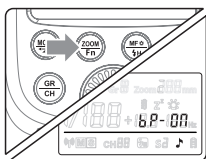
LCDパネルには「FC」（フォーカスアシストランプの自動シャットダウン）と「フラッシュなし」が表示されます。

時間」。回転選択ダイヤル  からフラッシュの希望時間を設定します。

<を押します  > 戻るボタン。

フラッシュなしの時間	意味
10秒	最後の発射から10秒後、フォーカスアシストランプが自動的に消灯します。
20秒	最後の発射から20秒後、フォーカスアシストランプが自動的に消灯します。
30秒	最後の発射から30秒後、フォーカスアシストランプが自動的に消灯します。

10. バズ機能



- バズ機能をオンまたはオフにするには、

<を押します  > ボタンを2回押し続けます
カスタム機能に入るのに数秒。

- 次に「SET」ボタンを押します

LCDに「ON」はバズがオンになっていることを意味し、「OF」はバズがオフになっていることを意味します。

- ブザーをオンにすると、

<  > はLCDディスプレイに表示されます。

11. ワイヤレスフラッシュ撮影：レシオ (2.4G) 送信

- TT600は2.4Gレシオトランスミッション（マスター/スレーブ）を備えています

- ワイヤレスモード設定：長押し<  > ボタンを2回押し続けます

<までの秒数  > アイコンが点滅している選択ダイヤルを回して設定する
OFF / Master (M) / Slave (S) モードから。

- チャンネル設定：長押し<  > ボタンを2回押し続けます

CH以外の数字が点滅するまで数秒

[ダイヤル]を選択して、1〜32からチャンネルを選択します。

- グループ設定：短押し<  > ボタンでグループを選択します。

フラッシュの使用

マスターモードでは、グループはM/A/B/C/D/Eから選択できます。スレーブモードでは、グループはA/B/C/D/Eから選択できます。

- TT600はGodoxワイヤレスXシステムを採用しているため、AD360II-Cと互換性があります。AD360II-N、TT685C、TT685N、X1T-C、X1T-N

無線制御など

- 下の図を参照してください。



12.ワイヤレス制御機能

- フラッシュユニットにはワイヤレスコントロールポート（6）が内蔵されているため、フラッシュの電力レベルをワイヤレスで調整し、フラッシュ、フォーカスアシストビーム、ブザーのオン/オフを制御したり、閃光。

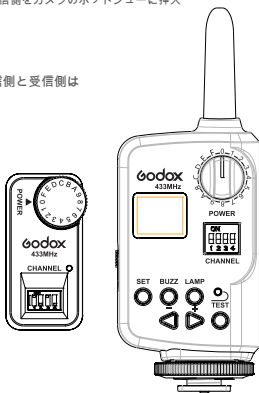
- フラッシュをワイヤレスで制御するには、Godox FTシリーズのリモコンセット（オンカメラとオンフラッシュ）が必要です。受信側をフラッシュのワイヤレス制御ポート（6）に挿入し、送信側をカメラのホットシューに挿入します。シュー。設定が行われました

ホットシューに取り付けられた送信側と受信側は

に無線通信

フラッシュ。次に、カメラのシャッターリリースボタンを押してフラッシュをトリガーします。送信側を手元に置いて、オフカメラを制御することもできます。

閃光。

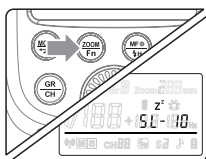


- FTシリーズのリモコンの使用法の詳細については、ユーザーマニュアルを参照してください。

13.同期トリガー

同期コードジャック（7）はΦ3.5mmのプラグです。ここにトリガープラグを差し込むと、カメラのシャッターと同期してフラッシュが発光します。

14.カスタム機能----スリープ機能



- 本製品は、フラッシュユニットのアイドル時の電池消費を防ぐスリープ機能を搭載しています。

- <を押します >ボタンを2回押し続けます
睡眠に入る秒

機能モード。LCDパネルに「SL」（スリープ）と

「スリープ時間」。スリープモードに入るまでのアイドル時間はデフォルトで10分です。選択ダイヤルを回転します。

フラッシュの使用

<  > 希望の時間を設定するには
点滅するか、スリープ機能をオフにします。

<を押します  > 戻るボタン。

アイドルタイム	意味
の	スリープ機能がオフになっているフラッシュユニットが自動的にスリープモードになることはありません。
3	スリープモードに入るまでのアイドル時間は3分に設定されています。
10	スリープモードに入るまでのアイドル時間は10分に設定されています。
30	スリープモードに入るまでのアイドル時間は30分に設定されています。
60	スリープモードに入るまでのアイドル時間は60分に設定されています。

●フラッシュがスリープモードに入ると、LCDパネルに「Z」アイコン。

●フラッシュユニットをウェイクアップするには、フラッシュユニットのいずれかのボタンを押すか、カメラのリリースボタンを押すか、トリガーのテストボタンを押します。

注意：

スリープモードに入る前のアイドル時間を短く設定することをお勧めします。これにより、バッテリーの寿命を延ばすことができます。

15.C.Fnカスタム機能の設定

カスタム 関数 兆候	機能設定 &	説明	操作
SL	睡眠設定可能時間 時間 設定	時間： <3> 3分 <10> 10分 <30> 30分 <60> 60分 <OF> ((オフ)	1. <を押します  >> ボタン カスタムに入る 機能。 2. 選択を回します ダイヤル<  >> に 睡眠時間を調整します。 3. <を押します  >> 戻るボタン。 *任意のボタンを押します 目を覚ますことができます フラッシュ。*入る前のアイ ドル時間 スリープモードは 設定することをお勧めします 短い。これはできます より長く確保する バッテリー寿命。

フラッシュの使用

カスタム 関数 兆候	機能設定 &	説明	操作
FC	自動 カ オフ 時間 設定 自動車の フォーカス 支援する	<10> 10秒 <20> 20秒 <30> 30秒	1. <を押します  >> 入力するボタン カスタム関数。 2. <を押します  >> FCに入るボタン 状態。 3. 選択を回します ダイヤル<  >> に 調整します。 4. <を押します  >> 戻るボタン。
bp	バズ 設定	<オン>オン <OF>オフ	1. <を押します  >> 入力するボタン カスタム関数。 2. <を押します  >> bpを入力するボタン 状態。 3. セレクトダイヤルを回します <  >> 合わせる。 4. <を押します  >> 戻るボタン。
bL	バックライト 設定	バックライトはすることができ 次のように設定します： <オン>： 常に照明 <12>： 12秒でオフ。 <OF>：オフ	1. <を押します  >> 入力するボタン カスタム関数。 2. <を押します  >> bLを入力するボタン 状態。 3. セレクトダイヤルを回します <  >> 合わせる。 4. <を押します  >> 戻るボタン。
OS	光学 奴隷 モード	<OF>オフ <S1> S1モード <S2> S2モード	1. <を押します  >> 入力するボタン カスタム関数。 2. <を押します  >> OSを入力するボタン 状態。 3. 選択を回します ダイヤル<  >> に 調整します。 4. <を押します  >> ボタン 戻る。

保護機能

1.過熱保護

●フラッシュヘッドの過熱や劣化を防ぐため、1/1フルパワーで30回以上連続してフラッシュを発光させないでください。30回以上連続してフラッシュした後は、10分以上の休憩をとってください。

●30回以上連続して発光させた後、短時間で発光させると、内部過熱防止機能が作動し、リサイクル時間が10～15秒程度になる場合があります。その場合は、約10秒の休憩時間をとってください。数分後、フラッシュユニットは通常に戻ります。

●過熱保護を開始すると、LCDディスプレイに表示されます。  に表示されます

過熱保護をアクティブにするフラッシュの数：

電力出力レベル	フラッシュの数
1/1	30
1/2 +0.7	40
1/2 +0.3	50
1/2	60
1/4 (+ 0.3、+ 0.7)	100
1/8 (+ 0.3、+ 0.7)	200
1/16 (+ 0.3、+ 0.7)	300
1/32 (+ 0.3、+ 0.7)	500
1/64 (+ 0.3、+ 0.7)	1000
1/128 (+ 0.3、+ 0.7)	

高速同期モードで過熱保護をアクティブにするフラッシュの数：

電力出力レベル	フラッシュの数
1/1	15
1/2 (+ 0.3、+ 0.7)	20
1/4 (+ 0.3、+ 0.7)	30
1/8 (+ 0.3、+ 0.7)	
1/16 (+ 0.3、+ 0.7)	40
1/32 (+ 0.3、+ 0.7)	
1/64 (+ 0.3、+ 0.7)	50
1/128 (+ 0.3、+ 0.7)	

保護機能

2.その他の保護

システムは、デバイスと安全性を保護するためのリアルタイム保護を提供します。以下のリストは、参照を求めるプロンプトを表示します。

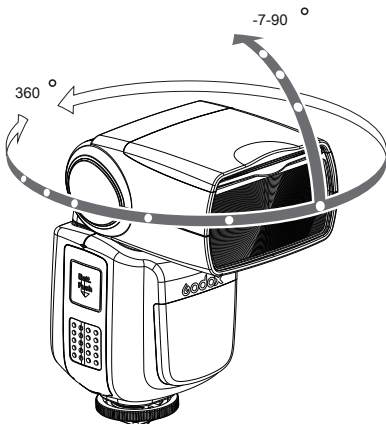
プロンプト LCDパネル	意味
E0	温度センサーに障害が発生しました。 このキットをメンテナンスセンターに送ってください。
E1	リサイクルシステムに障害が発生し、フラッシュが発光できなくなりました。 フラッシュユニットを再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、本製品をメンテナンスセンターに送付してください。
E2	システムが過熱します。10分の休憩時間をとってください。
E3	フラッシュチューブの2つのコンセントの電圧が高すぎます。 この製品をメンテナンスセンターに送ってください。

高度なアプリケーション

•バウンスフラッシュ

フラッシュヘッドを壁や天井に向けると、被写体を照らす前にフラッシュが表面に当たって跳ね返ります。これにより、被写体の背後の影が柔らかくなり、より自然なショットになります。これをバウンスフラッシュと呼びます。

バウンス方向を設定するには、フラッシュヘッドを持って満足のいく角度に回します。



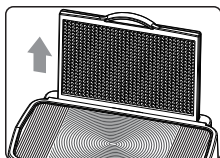
6 •壁や天井が遠すぎると、バウンスしたフラッシュが弱すぎて露出不足になることがあります。

•反射率を高くするには、壁や天井を無地の白い色にする必要があります。バウンス面が白でない場合、画像に色かぶりが見れることがあります。

高度なアプリケーション

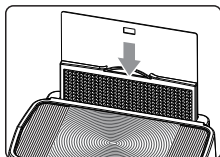
●キャッチライトの作成

キャッチライトパネルを使用すると、被写体の目にキャッチライトを作成して、表情に生命を吹き込むことができます。



1 フラッシュヘッドを上に向けます

2 キャッチライトパネルは同時に出てきます。



3 ワイドパネルを押し戻します。

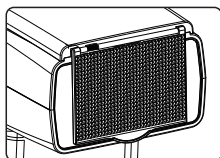
●バウンスフラッシュと同じ手順で撮影してください。

⚠ ●フラッシュヘッドを真っ直ぐ前に向けてから90°上に向けます。フラッシュヘッドを左右に振ってもキャッチライトは表示されません。

●最高のキャッチライト効果を得るには、被写体から1.5m / 4.9フィート離してください。

●ワイドパネルの使用

内蔵のワイドパネルを引き出してフラッシュの発光範囲を広げ、より柔らかく自然な照明効果を実現します。



ワイドパネルを引き出し、図のようにフラッシュヘッドの上に置きます。フラッシュのカバー範囲が14mmに拡大されます。

●同時にキャッチライトパネルが出てきます。キャッチライトパネルを押し込みます。

技術データ

製品モデル	TT600
ガイド番号 (1/1パワー@ 200mm)	GN 60 (m ISO 100)
垂直回転角	-7°-90°
水平回転角	0-360°
電源	Ni-MHバッテリー (推奨) または4 * LR6アルカリ電池約230
フルパワーフラッシュ	(2500mAニッケル水素電池)
リサイクル時間	約0.1〜2.6秒 (パナソニックのエネループニッケル水素電池)。 フラッシュの準備ができると、赤いLEDインジケータが点灯します。
フラッシュ持続時間	1/300秒 - 1/20000秒
色温度	5600K±200K
ワイヤレスフラッシュ機能	マスター、スレーブ、オフ
制御可能なスレーブグループ	5 (A、B、C、D、E)
送信範囲 (約)	100メートル
チャンネル	1〜32
寸法	64 * 76 * 190 mm
バッテリーなしの重量	400g
バッテリーを含む重量	500g

メンテナンス

- 異常動作が検出された場合は、ただちにデバイスをシャットダウンしてください。
- 突然の衝撃を避け、ランプは定期的には除塵する必要があります。
- 使用中はフラッシュチューブが温かいのが普通です。不要な場合は連続フラッシュを避けてください。
- フラッシュのメンテナンスは、オリジナルのアクセサリを提供できる認定メンテナンス部門が行う必要があります。
- この製品は、フラッシュチューブなどの消耗品を除き、1年間の保証が付いています。
- 許可されていないサービスは保証を無効にします。
- 製品に不具合があったり、濡れている場合は、専門家が修理するまで使用しないでください。
- ・仕様やデザインの変更は、本書に反映されていない場合があります。

深センShenniu写真機器株式会社。

GODOX Photo Equipment Co., Ltd.

住所 / 追加：華髮工業園、新河村、福州大通り、福永町、宝安区、深セン A4 ドン

ビルA4、Xinhe Huafa Industrial Zone、Fuzhou RD West、Fuyong Town、Baoan District、Shenzhen 518103、China

電話/ Tel：+ 86-755-29609320 (8062)

ファックス/ ファックス：+ 86-755-25723423

メールボックス/ Eメール：godox@godox.com

<http://www.godox.com>